

《救急の日及び救急医療週間》

「救急の日」及び「救急医療週間」は、救急医療及び救急業務に対する国民の正しい理解と認識を深め、救急医療関係者の意識の高揚を図ることを目的に昭和 57年に定められ、以来、毎年9月9日を「救急の日」とし、この日を含む1週間(日曜日から土曜日まで)を「救急医療週間」としています。

今年は9月8日(日)から9月14日(土)までが「救急医療週間」です。

東京消防庁管内における令和5年中の救急出動件数は、約92万件でした。

東京消防庁では、119番通報で救急車の要請を受けると、対応可能な最も近くの救急車が出動します。しかし、救急車の数は限られています。救急要請が集中、増加して周囲の救急車が出払ってしまうと、遠くから駆け付けなくてはならないため、救急車が現場に到着するまでに時間がかかります。救急車の到着が遅れ、生命の危機が迫っている人を病院に搬送するまでの時間が遅くなるほど、命が助かる可能性が低下していきます。また、救急搬送された方のうち初診医師により軽易で入院を要さない軽症と判断された割合は約半数を占めています。引き続き、救急車の適時・適切な利用にご協力をお願いします。救急車？病院？迷ったら#7119東京消防庁救急相談センターや東京版救急受診ガイドをご利用ください。

【令和6年度救急医療週間の主な行事】

9月8日～9月14日 芝消防署1階ロビー 展示広報 東京消防庁

9月13日～10時30分 救急業務協力者感謝状贈呈式



病院へ行く？ 救急車を呼ぶ？ 迷ったら…

電話でも！ ネットでも！

#7119



電話で相談

東京消防庁救急相談センター



ネットでガイド

東京版救急受診ガイド

#7119 電話

#7119 検索

東京消防庁 東京都医師会 東京都福祉保健局